



●平成28年11月号 ●No.115 ●発行／館山市議会 ●〒294-8601 館山市北条1145-1 ●電話0470-22-3527
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



第2回議会報告会

平成28年9月定例市議会 館山市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例などを修正可決

9月定例市議会は、9月1日から27日までの会期27日間にわたり開かれ、市長から提案された21議案のうち、老人福祉センターの入浴料については、200円を100円に、ごみ処理手数料については、その他の一般廃棄物の処理手数料及び産業廃棄物の処理手数料を10キログラムにつき180円から160円に修正議決しました。その他の議案については原案どおり可決しました。

9月定例会において、会議初日（9月1日）は、会期を27日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われました。

9月6日及び7日は、10人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考え方をただしました。

9月12日は、決算を除く各議案について質疑を行つた後、所管の常任委員会に審査を付託しました。

9月14日は、各会計決算に対する質疑を行い、決算審査特別委員会を設置、委員を選任し、審査を付託しました。

■主な内容■

- ★議案の概要と委員会審査 2~5頁
- ★一般質問 6~11頁
- ★議決結果 11~12頁

最終日（9月27日）は、各委員会の委員長が、委員会での審査の経過及び結果を報告した後、質疑、討論、採決を行いました。

続いて、追加議案の審議を行い、採決した後に閉会しました。

議案の概要と委員会審査

9月定例会に提案された
議案を紹介します。

議案第50号 平成28年度
館山市一般会計補正予算(第
3号) 〃歳入歳出それぞれ
830万円を追加し、総額
186億7737万円としよ
うとするもの。

主要事項として恋人の聖地
事業、海路利用促進事業。

議案第51号 館山市議会議
員及び館山市長の選挙におけ
る選挙運動の公費負担に関する
条例の一部を改正する条例
の制定について 〃公職選挙法
施行令の改正に伴い、選挙運
動用自動車の使用、選挙運動
用ビラの作成及び選挙運動用
ポスターの作成に係る経費に
ついて、公費による負担の限
度額を改めようとするもの。

総務委員会の審査

(委員長 望月 昇議員)

なぜこの時期の改正なのか
と聞いたところ、本市にお
いては公職選挙法の規定によ
り公費負担をすることができる
ことから本条例を制定して

いるところだが、今般公職選
挙法施行令の改正が行われた
ことによりこの時期の改正にな
つた、との説明があります
こと。

いるところだが、今般公職選
挙法施行令の改正が行われた
ことによりこの時期の改正にな
つた、との説明があります
こと。

議案第52号 館山市行政手
続における特定の個人を識別
するための番号の利用等に関
する法律に基づく個人番号の
利用及び特定個人情報の提供

に関する条例の一部を改正す
る条例の制定について 〃こど
も課が教育委員会に編成され
たことに伴う所要の改正をし
ようとするもの。

議案第53号 館山市人事行
政の運営等の状況の公表に関
する条例の一部を改正する条
例の制定について 〃地方公務
員法の改正に伴い、条例の整
理をしようとするもの。

総務委員会の審査

(委員長 望月 昇議員)

公平委員会について聞いた
ところ、公平委員会は、職員
の勤務条件に関する措置の要
求や不利益処分の審査、判定
などをを行う行政委員会のこと
であり、館山市は、県内他市

町村とともに共同処理団体に
なっていて、その事務局窓口
は千葉県自治研修センター内
にある、との説明があります
こと。

議案第54号 館山市職員の
勤務時間、休日、休暇等に関
する条例の一部を改正する条
例の制定について 〃地方公務
員法及び学校教育法の改正に
伴い、条例の整理をしようと
するもの。

義務教育学校の前期課程
とは小中一貫校の最初の6年
間かと聞いたところ、学校の
種類として義務教育学校があ
り、これは9年制の小中一貫
教育のことを指しており、そ
の1年生から6年生までを前
期課程、7年生から9年生ま
でを後期課程という、との説
明がありました。

現状も、検査を受けるた
びに改修するよう勧められて
いる状況の中で、今後も改修
項目が増えてくると思われる
が、来館者に安心して見てい
ただけることを基本条件とし
て、施設を維持し、運用して
いきたい、との説明がありました。
した。

議案第55号 館山市立博物
館設置条例の一部を改正する
条例の制定について 〃施設の
管理に係る経費を考慮し、博物
館の観覧料の改正をしよう
とするもの。

(委員長 石井敬之議員)

文教民生委員会の審査
(委員長 石井敬之議員)

今回の料金改定は、老朽化
が進んでいる施設の維持対策
の意味もあると思うが、施設
の現状と、今後の改修予定は
どうなっているか聞いたところ
で、ご指摘のとおり施設の老
朽化が激しく、平成18年から
平成27年までの間に、予定外
の改修工事が8件あり、合計
で、2995万9千円かかっ
ている。



館山市立博物館 (八犬伝博物館)

また、入館者を増やすた
めの対策について聞いたと
ころ、企画展などでも、「里
見」とか「八犬伝」というキ
ワードがつくと、客数が非常
に多くなる傾向がある。
その他にもお祭り関係な
ど、多くの人が興味を持つ
ようなテーマをおもてに出し
て、来客数の増を図つていき
たいと考えている、との説明
がありました。

文教民生委員会の審査
温水プールなどの施設で、
小中高生を統一料金にするこ
とにより、中高生は少し安く
なるものの、小学生は高くな
るということについて、どう
考えているか聞いたところ、
これまでの「一般・中高生・
小学生」の3区分から、今回、
「一般・高校生以下」の2区分
にした理由は、事務の簡
素化、合理化が主な目的であ
り、合わせて料金設定も、10

円単位のものを、全て50円単位、100円単位に改めた。一般料金の設定については、近隣市町との均衡を図りながら決めた。また、高校生以下の半額としたのは、社会一般的な公共料金や施設使用料の設定を参考として決めたものである、との説明がありました。

については、多くの利用者に頼りにされている施設だということを十分理解した上で改正であつてほしいと思うが、どう考えるか聞いたところ、湊と出野尾の2つの施設の利用者の実人数は364名であり、その中で、年間100回以上利用する人は41名、それ以外に週1回以上の利用者が67名いる。

この合計108名で、全体の約1万5千回の利用回数の約8割を占めており、この方々は、風呂の利用について特に影響を受ける方々だと思つていい。

また、利用者の中には、風呂が自宅にない人や、健康上理由から1人で風呂に入るのが心配だという人など、生活支援として施設を頼りにしている人もいるので、条例の枠内での減免や、政策的な対策等により、配慮していくべきものと考えている、との説明がありました。

なお、吉田委員から、この議案に対する修正案が提出されました。

修正内容は、浴室使用料200円を100円にするも

の老人福祉センターの風呂にさせていただいたものであるとの説明がありました。



館山市老人福祉センター

が、今少し議論をさせてほしい、との説明がありました。以前の赤文字の指定袋はどのくらい残っているのかと聞いたところ、45リットルが一箱500枚で約300箱、20リットルが約700箱、合計約1000箱ある、との説明がありました。

また、1000箱の製造価格はいくらかと聞いたところ、合計で約260万円である、との説明がありました。

委員からは販売計画や消費の見込みに十分注意し、余ることのないようにしてほしい、との意見がありました。

この値上げをしないとごみ処理事業がうまくいかなくななるのかと聞いたところ、受益者の負担割合が「使用料・手

数料のうち、し尿処理手数料については、近隣市に合わせた料金設定とともに将来の施設建設に向けた財源を確保するために、また、可燃物用指定袋、一般廃棄物の処理手数料及び産業廃棄物の処理費用については、受益者負担の適正化を図るために改正をしようとするもの。

周辺他市町との比較について聞いたところ、南房総市は45リットルの袋が1枚52円、鴨川市は45リットルが50

円、20リットルが20円となる、鋸南町は南房総市と同一である、との説明がありました。

一般事業系のごみ処理手数料の比較はしているのかと聞いたところ、産業廃棄物については南房総市が、10キログラムにつき154円、鴨川市が120円、鋸南町は南房総市と同額である、との説明がありました。

その他の一般廃棄物を180円とした部分は、他市町も産業廃棄物と同額かと聞いたところ、そのとおりである、との説明がありました。

が、ありました。

なお、榎本委員から議案第58号に対する修正案が提出されました。

修正内容は、その他の一般廃棄物の手数料及び産業廃棄物の処理手数料を10キログラムにつき180円から160円にするものです。

ごみ袋の切り替え時の対応について配慮が必要ではな

いかと聞いたところ、周知期間のなかで対応したいと思う

例の制定について＝城山公園

議案第59号 館山市都市公園条例の一部を改正する条

駐車場の有料化に伴い、使用料の基準を定めようとするもの。

建設経済委員会の審査

業者に対する周知はどのようにしていくのかと聞いたところ、定期的に公園に来場しているバスのツアーや会社や、その他考えられる業者に直接連絡するとともに市のホームページや広報誌などを通じ、あらゆる機会を捉えて周知していくみたい、との説明がありました。

平日に徴収することを考えなかつたのかと聞いたところ、費用対効果について議論し、検討したなかで3月15日から5月15日までの土日祝日に徴収するのが効果的であるとの結論となつた、との説明がありました。

事業運営費補助金、コミュニティ医療推進基金積立金、環境保全基金積立金、ごみ指定袋製造等業務委託料、安房郡市広域市町村圏事務組合ごみ処理広域化推進費負担金、产地パワーアップ事業補助金、観光振興基金積立金、観光プロモーション活動推進事業資金貸付金、道路新設改良事業、河川整備事業、下水道事業特別会計繰出金、スポーツ振興基金積立金、災害復旧事業、フレフレ・たてやま応援基金積立金など。

総務委員会の審査

債務負担行為に関する、都市計画道路船形館山線整備事業の進捗状況を聞いたところ、本年8月末現在で、面積ベースで40パーセントを超える用地買収が完了しており、おおむね順調に進捗しているとの説明がありました。

議案第60号 平成28年度館山市一般会計補正予算(第4号) ॥歳入歳出それぞれ1億3044万6千円を追加し、総額188億781万6千円としようとするもの。

主要事項として、ふるさと納税事務に係る経費、介護保険特別会計繰出金、母子・父子自立支援給付金、救急医療

返礼品の選定をしている、との説明がありました。

議案第63号 平成28年度館山市一般会計補正予算(第5号) ॥歳入歳出それぞれ810万円を追加し、総額188億1591万6千円としようとするもの。

主要事項として台風9号により被災した道路及び河川の災害復旧工事を実施するための災害復旧費。

議案第61号 平成28年度館山市介護保険特別会計補正予算(第1号) ॥歳入歳出それぞれ2億3797万6千円を追加し、総額58億8761万8千円としようとするもの。

主要事項として、介護認定に関する、介護認定申請数の推移を聞いたところ、平成24年度は2851件、平成25年度は2962件、平成26年度は3107件、平成27年度は3198件であり、100件前後で増加している、との説明がありました。

議案第62号 平成28年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第1号) ॥地方債の補正として、資本費平準化債の変更しようとするもの。

ふるさと納税事務について、返礼品について総務省から注意喚起されているが本市はどうなのかと聞いたところ、総務省の通知にのつとり返礼品の選定をしている、との説明がありました。

議案第63号 平成28年度館山市一般会計補正予算(第5号) ॥歳入歳出それぞれ810万円を追加し、総額188億1591万6千円としようとするもの。

主要事項として台風9号により被災した道路及び河川の災害復旧工事を実施するための災害復旧費。

議案第61号 平成28年度館山市介護保険特別会計補正予算(第1号) ॥歳入歳出それぞれ2億3797万6千円を追加し、総額58億8761万8千円としようとするもの。

主要事項として、介護認定申請数の推移を聞いたところ、平成24年度は2851件、平成25年度は2962件、平成26年度は3107件、平成27年度は3198件であり、100件前後で増加している、との説明がありました。

決算審査特別委員会の審査

(委員長 鈴木正一議員)

防災用品備蓄事業に関して、防災用品で期限がきた物をどうしているのかと聞いたところ、期限が迫ってきたところ、購入した土地の利用目的について聞いたところ、持分として保有しているため、特に利用目的は考

ていないと聞いている、との説明がありました。

有害鳥獣対策事業について、わなの管理状況について聞いたところ、個別のわなの管理については、貸し出した使用者に委ねている状況であり、市が点検したことはない、との説明がありました。

プレミアム商品券発行支援事業補助金に関して、地域経済の活性化は図られたのかと聞いたところ、館山市商業協同組合が実施した 館山市プレミアム商品券事業による経済効果測定調査結果報告書においては、プレミアム商品券事業の実施を契機とした新たな消費が8955万円あり、地域経済の活性化が図られているとの説明がありました。

道路維持補修事業について、法定外道路補修工事の内容について聞いたところ、水

道路の破損、赤道（あかみち）の路肩の損傷などである、との説明がありました。

道路新設改良事業に関して、要望のうち未着工のものはどれくらいあるのかと聞いたところ、維持補修事業を含めて約120件である、との説明がありました。

消防団活動事業に関する消防団員報酬と費用弁償の支払い先を聞いたところ、報酬は個人の口座に振り込む手続きをとつており、費用弁償は各部部長を代表受領者として、部長指定の口座に振り込んでいる、との説明がありました。

また、女性消防団員の募集について聞いたところ、従前から消防団員は男女を問わず募集しているが、消防委員会から女性消防団員の募集に注力する必要があるとの答申をいただいている、との説明がありました。

図書館運営事業に関して、読書通帳の成果について聞いたところ、徐々に登録者数が増えている、との説明がありました。

学校給食センター施設整備事業に関して、近隣住民説明



操法訓練をする消防団員

会に関する情報提供について
聞いたところ、実施設計は完了してい
ないが、近隣住民説明会で使用した資料について
は、早急に提示したい、との
説明がありました。

次に歳入について、地方消費
税交付金の増加により消費
税増税は館山市の財政にとつてマイナスになつてい
ではないかと聞いたところ、
交付金は増えるが、その分が
基準財政収入額に全額算入さ
れるため、厳しい状況は変わ
らない、との説明がありま
た。

本市への視察訪問

平成28年10月13日 福島県
伊達市の議員が「ふるさと納稅
について」視察のため来館
しました。

階) 前で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。

**市議会を
傍聴しませんか！**

また、本会議を開いている
期間は、インターネットで
本会議の中継を配信していくま
での、ご利用ください。（館
山市のホームページでご覧に
なれます）

次の定例会の予定

- 開会日:
11月30日(水)午前10時から
 - 一般質問:
12月6日(火)、7日(水)
予備日:8日(木)
各日午前10時から
 - 請願・陳情提出締切:
11月22日(火) 正午まで

月27日提出) Ⅱ館山市教育委員会委員の任期が満了となるので、引き続き大和地紀昭さんを任命しようとするもの。

議案第65号 館山市教育委員会委員の任命について(9月27日提出) Ⅱ館山市教育委員会委員の任期が満了となるので、新たに小柴孝子さんを任命しようとするもの。

本市への視察訪問

平成28年10月13日 福島県伊達市の議員が「ふるさと納税について」視察のため来館しました。

表紙の写真について
(第2回議会報告会)

平成28年10月29日に館山市議会基本条例に基づく第2回議会報告会を開催しました。当日は市内3会場に分かれ、常任委員会及び決算審査特別委員会で重要な議案について説明をし、その後市民か

た。 らの質疑応答に応えていまし

一般質問

一般質問通告要旨

市政に関する一般質問は、9月6日と7日の2日間にわたり、次の10名の議員が行いました。
議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとあります。(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

(質問順)

	瀬能孝夫 ①食べられるのに廃棄されている食品の有効活用(残渣等に対する食品リサイクルの現状と対策、「サンマル・イチゴ運動」、食品ロス削減の数値目標) ②子育て環境の包括的支援 ③親子の絆育むブックスタート事業(館山市での取り組み、セカンドブック事業の取り組み)
	室厚美 ①学校給食における地産地消の推進に向けた取り組み ②消防団と自主防災会・防災士との位置づけ・役割分担 ③地域おこし協力隊の活動状況
	石井敏宏 ①安房広域ごみ処理施設計画における約2億円の損失 ②坂田の残土埋め立てを延長する計画(事業者による住民説明会、館山市の意見書の内容) ③学童保育 ④ボランティアセンターの設置要望
	鈴木順子 ①市役所から排出される古紙の扱い ②市や関係団体などが行うイベントの日程 ③夏場の海を対象とした気象情報のあり方 ④国民健康保険制度改革の進捗状況 ⑤介護認定申請に際して、結果が出るまでの間の暫定利用
	本多成年 ①「地域の支え合いを育む」(町内会の加入、市民モニターリング制度、市民協働条例) ②有害鳥獣対策の3市1町の対応(イノシシの捕獲報奨金、電気柵・メッシュ柵の補助金、館山市のイノシシの捕獲数) ③東京都大島町との現在と将来の関係
	森正一 ①館山市立第三中学校の耐震化の検討(予算的な目途、建て替えするか耐震改修するかの検討、今後のスケジュールの検討、プレハブ仮設校舎の建設等) ②子育て支援(子どもの貧困対策、生活困窮者の子供の学習支援事業、幼稚園における預かり保育の時間延長) ③高齢者がいつまでも健康で楽しく暮らしていくために(高齢者向けイベントの実施状況・成果・効果、多世代参加型のイベント)
	鈴木正一 ①農業の振興(農地中間管理事業の状況、有害鳥獣の現状と対策) ②安心・安全な館山の海水浴場の確保に関する条例 ③地域コミュニティの形成 ④スポーツ振興
	内藤欽次 ①行財政改革 ②介護保険の見直しに伴う負担増(2割負担で介護給付が受けられなくなった事例の有無、際限のない負担増と給付減) ③就学援助制度の周知徹底と拡充(制度のPR、入学前の支給) ④防災対策として「家具転倒防止金具取り付け工事助成制度」(市民の防災対策についての実態把握、制度の創設)
	龍崎滋 ①館山市の地域防災(災害時の消防団活動・安全管理マニュアルの策定、災害協定の推進) ②館山市の教育(部活動の休養日、教員の長時間労働) ③新学校給食センター(基本計画の中で建設及び維持管理費の縮減、参考とした給食センター)
	今井義明 ①相次ぐ台風接近による農作物への影響(被害の把握状況、行政としての支援策) 大型クルーズ船の誘致(誘致活動の現状、寄港による経済効果、館山夕日桟橋の拡充整備の要望活動、県南自治体の連携、千葉県・他市との連携・情報共有) ③船形バイパスの開通後を見据えた周辺の活性化策(具体的なイメージ、漁業協同組合の合併協議) ④「たてやま食のまちづくり計画」における交流拠点整備(都市計画決定の廃止、交流拠点整備の進捗状況)

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、11月中旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムでご覧ください。

主な質問と答弁

産業振興・観光振興

◆ 夏場の海を対象とした気象情報は?

問 夏場の海を対象とした気象情報のあり方に工夫が必要ではないか。

答 海水浴場の開設期間中は、監視員が毎朝それぞれの海水浴場の状況を確認し、游泳可能・游泳注意・游泳禁止を判断しています。

館山市では、その報告を受け、遊泳に関する情報を館山市や観光協会のホームページで公開して、利用者の方々への周知を行っています。

なお、警報や注意報などが発令された場合には、海水浴場ごとに游泳可能かどうか適宜判断し、周知しています。館山の海は、それぞれが違った個性を持っています。特に北条海岸は別名「鏡ヶ浦」と呼ばれているほど穏やかな海岸であり、他の地域では波が高く游泳が困難なコンディションであつても游泳が可能である場合があります。

◆ 有害鳥獣対策の3市1町の対応は?

問 イノシシ捕獲時の捕獲報奨金が各市町で異なることへの見解を問う。

(本多成年議員)

答 南房総市を除き館山市と鴨川市、鋸南町は同額となっています。

捕獲報奨金の設定には、各市町の財政面や国からの補助にも関連しています。

しかししながら、捕獲報奨金は県内では同一の金額が理想であり、今後も有害鳥獣対策に係る広域会議などの場を通じて、報奨金の統一化について千葉県に要望していくたいと考えています。

航する高速ジェット船による東京・館山・大島間の春の季節運航が毎年1月から4月にかけて実施されていますが、平成28年には6089人、平成16年の社会実験からの累計では約12万5千人の方が利用しています。

また、平成22年から開始された6月の臨時運航においては、累計で約27000人の方が利用しています。

さらに、季節運航の開始時には大島町長や大島観光協会長をはじめとしたキャラバン隊が、館山市内の関係機関を訪問した後、館山市観光協会機関への観光プロモーション

を背景に、国や千葉県に対しても、館山夕日桟橋の拡充整備を要望していきたいと考えています。

館山市としても、地域やNPO等の地域活性化につながる取り組みについて、可能な範囲で支援していきたいと思います。



大島との季節運航をする高速ジェット船

◆ スポーツ振興は?

問 オリンピックの誘致について、今後のスケジュールはどうなっているか。

答 館山市での大会実績があるトライアスロン、マラソンスイミングいわゆるオーブンウォータースイミングについて、事前キャンプにも適していることを千葉県に対して積極的にPRしてきました。

7月には森田知事がオランダを訪問し、千葉県とオランダオリンピック委員会との間で、「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプに係る合意書」が締結されました。これは、2020年の事前キャンプに向けて、オリンピック13種目、パラリンピック9種目

◆ 夏場の海を対象とした気象情報は?

問 夏場の海を対象とした気象情報のあり方に工夫が必要ではないか。

(鈴木順子議員)

答 海水浴場の開設期間中は、監視員が毎朝それぞれの海水浴場の状況を確認し、游泳可能・游泳注意・游泳禁止を判断しています。

館山市では、その報告を受け、遊泳に関する情報を館山市や観光協会のホームページで公開して、利用者の方々への周知を行っています。

なお、警報や注意報などが発令された場合には、海水浴場ごとに游泳可能かどうか適宜判断し、周知しています。館山の海は、それぞれが違った個性を持っています。特に北条海岸は別名「鏡ヶ浦」と呼ばれているほど穏やかな海岸であり、他の地域では波が高く游泳が困難なコンディションであつても游泳が可能である場合があります。

◆ 有害鳥獣対策の3市1町の対応は?

問 イノシシ捕獲時の捕獲報奨金が各市町で異なることへの見解を問う。

(本多成年議員)

答 南房総市を除き館山市と鴨川市、鋸南町は同額となっています。

捕獲報奨金の設定には、各市町の財政面や国からの補助にも関連しています。

しかししながら、捕獲報奨金は県内では同一の金額が理想であり、今後も有害鳥獣対策に係る広域会議などの場を通じて、報奨金の統一化について千葉県に要望していくたいと考えています。

航する高速ジェット船による東京・館山・大島間の春の季節運航が毎年1月から4月にかけて実施されていますが、平成28年には6089人、平成16年の社会実験からの累計では約12万5千人の方が利用しています。

また、平成22年から開始された6月の臨時運航においては、累計で約27000人の方が利用しています。

さらに、季節運航の開始時には大島町長や大島観光協会長をはじめとしたキャラバン隊が、館山市内の関係機関を訪問した後、館山市観光協会機関への観光プロモーション

を背景に、国や千葉県に対しても、館山夕日桟橋の拡充整備を要望していきたいと考えています。

館山市としても、地域やNPO等の地域活性化につながる取り組みについて、可能な範囲で支援していきたいと思

◆ 地域コミュニティの形成は?

問 神戸地区の松岡出身である福原有信氏を紹介することによってコミュニティを形成し、地域の活性化につなげはどうか。(鈴木正一議員)

答 福原有信氏は、世界に冠たる企業である資生堂の創業者として、館山市の誇りであるとされています。

同氏については、現在、「福原有信を語り継ぐ会」や、松岡区、NPO法人安房文化遺産フォーラムなどが、松岡区

について、千葉県内でオランダの各競技団体の視察を受け入れ、具体的な条件の調整等を行つていくことについて合意したものです。

館山市では、トライアスロン、マラソンスイミング、ビーチバレー、パラリンピックトライアスロンのオリンピック3種目、パラリンピック1種目にについて協議していくこと

また、公益財團法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が、日本国内の良質なキャンプ候補地を紹介するホームページを作成し、「ガイド掲載」を行っています。

館山市では、トライアスロン及び自転車ロードレースについて、年内のガイド掲載に向けて、調整作業を進めていきます。

◆大型クルーズ船の誘致は?
問 館山市の大型クルーズ
船の誘致活動及び他市の誘致

答 館山夕日桟橋の先端岸壁部分は、水深が7・5メートルであり、乗船客が数千人規模の大型クルーズ船の接岸は難しいことから、館山夕日桟橋に接岸可能な「にっぽん丸」や「ぱしふいづくびいなす」などのクルーズ船を所有する船会社へ、毎年、市長が率先してボートセールスを行っています。なお、クルーズ船ではありませんが、去る6月に高速ジェット船による館山・江の島間の臨時便が初めて運航されました。

今後も、新規航路の運航について船会社に働きかけていきたいと考えています。

また、他市の誘致活動の状況については、千葉市では、現在大型クルーズ船の誘致に係る具体的な活動は行つていませんが、4月に千葉みなとにオープンした小型旅客桟橋の整備を行うとともに、今後、大型クルーズ船の寄港を推進していくと伺っています。

また、木更津市は「みなどまち木更津プロジェクト推進

岸は難しいことから、館山夕日桟橋に接岸可能な「にっぽん丸」や「ぱしふいづくびいなす」などのクルーズ船を所有する船会社へ、毎年、市長が率先してボートセーリングを行っています。なお、クルーズ船ではありませんが、去る6月に高速ジェット船による館山・江の島間の臨時便が初めて運航されました。

◆たてやま食のまちづくり計画における交流拠点整備は?
問 交流拠点整備の進捗状況はどうなつてているのか。

A woman in a purple plaid shirt stands behind a stall at a street market, surrounded by various vegetables like lettuce and onions. A white van with a red 'K' logo is visible in the background.

ごみ問題・環境対策

◆食べられるのに廃棄されて
いる食品の有効活用は?

問 食品廃棄物や学校給食からの残渣に対する食品リサイクルの現状と対策を問う。

答 農業及び畜産では大量の食品廃棄物の発生は見られ

の食品廃棄物の発生に見られず、漁業では出荷に至らないものは肥料及び飼料の原料として使用されています。

一方で、国内の畜産業を見ますと、経営コストの約4

割から7割を占める飼料費について、食品製造の過程から

生する副産物や売れ残りのお弁当などの余剰食品、調理の際に発生する残渣などを利用して製造する家畜用の濃厚飼

料であるエコファイードの活用が国において推進されています。

このような取り組みについて、館山市内の畜産農家などへ情報発信に努めています。

また、学校給食から排出される残渣については、調理過程からの野菜くずなどを含めて、年間約105トンの残渣が排出されます。

そのうち約45トンはリサイクルとして養豚業者が直接給食センターに引き取りに来ており、残りの約60トンは館山市清掃センターへ直接搬入し焼却しています。

施設建設に向けて実施した必要な業務であり、適正な事務手続を行つた上で実施しており、その実施の判断が違法又は不當な財務会計上の行為又は怠る事実はなく、これらの観点からは、安房郡市広域市町村圏事務組合に損害が発生していることは認められないという報告がありました。

館山市としては、監査結果の報告でも指摘がありましたが、事業を中止する事態となつたことについては、事業を進める上で、専門家の意見を伺うなど、細心の注意が必要であつたと考えています。

◆坂田の残土埋め立てを延長する計画は?

問 事業者による住民説明会は適切に行われたのか、また館山市は県に対してもどのような内容の意見書を出されたのか。

(石井敏宏議員)

答 事業者による住民説明会は本年4月に計画区域が所

在する坂田地区で説明会が行わされました。

その後に、西岬連合区長会へも事業内容や今後の事業の流れを説明した旨の報告があ

りました。

千葉県に対する意見書については、本年8月に千葉県から意見照会があり、現在、関係部署に前回の事業実施状況を踏まえた形での意見照会を行つているところです。

交通安全・防災対策

◆消防団と自主防災会・防災士との位置付けは?

問 防災の観点から、消防団と自主防災会・防災士との位置付け、役割分担について

問 (室 厚美議員)

答 非常備組織として消防

団は、常備組織としての消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関であり、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担つて

います。

自主防災会は、「自分たちの地域は自分たちで守る」とい

う「共助」の精神に基づき、

地域住民が自主的に結成した「自立防災組織」です。

防災士は、地域で防災活動を推進するリーダー役として、活動に必要な一定の知識を有し、日本防災士機構の定めたカリキュラムを修了した方です。

今年度、地域防災活動に必要な基礎知識や能力等を習得するための防災士養成講習を開催し地域防災リーダーを育成するとともに、館山市防災士連絡協議会の設置を検討し、自主防災組織の体制及び機能向上を図つていきたいと考えています。

今年度、地域防災活動に必要な基礎知識や能力等を習得するための防災士養成講習を開催し地域防災リーダーを育成するとともに、館山市防災士連絡協議会の設置を検討し、自主防災組織の体制及び機能向上を図つていきたいと考えています。

◆市民の防災対策についての実態把握は?

問 市は、家屋の耐震等、市民の防災対策についてどの程度実態を把握しているのか。

(内藤欽次議員)

答 館山市内の住宅の耐震化率は、平成28年1月1日

時点に現存する住宅においては、昭和57年以降の新耐震基準により建築された住宅を含め、約6割の住宅が耐震基準を満たしていると推定しています。

市民の防災対策について



地区住民による防災訓練

は、災害の瞬間に命を守るために、まずは平時のうちに、普段よくいるスペースを、どれだけ安全に対策をすることができるかが肝心です。

「大地震では、家具は必ず壊れるもの」と考えて、日頃から家具の固定や配置の見直しで安全な空間を作らなければなりません。

大地震に備え、家具や食器棚をしっかりと固定し、室内での被害を最小限に防ぎ、まず大切な命を守ること、また、部屋の出入口や廊下が塞がれないようにして、より安全な避難経路を確保するために家具転倒防止の促進を図ることは大変必要なことであると考えています。

大地震に備え、家具や食器棚をしっかりと固定し、室内での被害を最小限に防ぎ、まず大切な命を守ること、また、部屋の出入口や廊下が塞がれないようにして、より安全な避難経路を確保するために家具転倒防止の促進を図ることは大変必要なことであると考えています。

教育問題・少子化対策

◆子育て環境の包括的支援は?

問 フィンランドでは「ネウボラ」というワンストップ

支援センター」を設置する考え方ではないか。(瀬能孝夫議員)

答 館山市では、妊娠期か

ら出産、幼児期の健診などに

ついては産院と保健センター

が中心となり、幼児期の子育

て支援については利用者支援

員や元気な広場が中心となつ

て、きめ細かな相談や支援を

進めしており、これらの機能が

切れ目なく実施できるよう、

こども課や健康課、関係課が連携を進めているところです。

保健師による妊産婦へのアドバイスや相談、乳児家庭への全戸訪問、こども課に配置

した利用者支援員やご好評を

いただいている元気な広場等

での子育て支援などにより、

「子育て世代包括支援センターカー」の機能はほぼ充足して

いると考えています。

さらに、妊娠期から子育て

期にわたる切れ目のない支援を実施するため、関係各課や関係機関との連携を強化していきたいと考えています。

◆学校給食における地産地消の取り組みは?

問 学校給食における地産地消の推進に向けた取り組みについて問う。

答 1日当たり約3900食、年間で約71万6千食を提供する学校給食において、地産地消を推進することは、地域経済の活性化のみならず、食育の観点からも重要であると認識しており、納入業者との連携により、調達が可能な館山産の食材を使用しています。

平成27年度に使用した主な給食用材料のうち、米や豚肉、たまご、レタス、なす、かぶについては、全て館山産を使用しており、キャベツやキュウリ、セロリについても、一部、館山産を使用しています。

このような取り組みの結果、平成27年度の学校給食における、米、肉、たまご、野

菜類の館山産の使用割合は、重量ベースでは約140トンのうち約54トン、全体の38.4パーセントとなつており、金額ベースでは給食材料購入費全体の決算額約1億9400万円のうち約3600万円、18・6パーセントとなっています。

なお、館山産を含めた千葉県産の使用割合は、重量ベースでは約74トン、全体の53・2パーセントとなつており、金額ベースでは給食材料購入費全体の決算額のうち約4200万円、21・9パーセントとなっています。

今後も、調理等の対応が可能な食材については、地場産物を積極的に使用していくと想定しています。

第三中学校を一時的に既存の他の施設に移転することによる上、教育環境が低下する懸念があるため、これまでの学校施設の耐震化事業と同様に、現在の校舎を活用しながら、施設整備を進めたいと考えています。

第三中学校の安全で安心な教育環境の整備を第一に考え、建て替えなのか、耐震改修なのか、方針を定め、事業の推進に努めます。

◆中学校の部活動の休養日は?

問 部活動の休養日についてどのように考えているのか。

答 館山市の中学校では、などを利用して安心・安全な環境に学校生活の場を移すべきではないか。

答 次代を担う生徒が、安心して安全な教室で勉学に励むためには、教育環境の整備

と充実が必須であることを十分に認識しています。

現在の第三中学校校舎の耐震性を示すI-s値は0・33で、国が示す3段階の耐震基準の中位にあります。

第三中学校を一時的に既存の他の施設に移転することは、多大な労力と経費かかる上、教育環境が低下する懸念があるため、これまでの学校施設の耐震化事業と同様に、現在の校舎を活用しながら、施設整備を進めたいと考えています。

今後も引き続き、生徒や教員の負担を考慮した部活動運営を行っていくよう支援していきます。

効率化して業務の効率化を図っています。

今後も引き続き、生徒や教員の負担を考慮した部活動運営を行っていくよう支援していきます。

◆新学校給食センターは?

問 建設及び維持管理費の縮減について問う。

答 学校給食衛生管理基準及び大量調理施設衛生管理マニュアルに対応しながら、調理における厨房機器の熱源や空調換気設備の電力量などについて、イニシャルコスト及びランニングコストの比較検討を行い、建設費及び維持管理費の縮減に努めました。

また、建設候補地の地盤調査を行った結果による杭打ち工事についても、いくつかの工法を比較し、経済的な、かつ、効率の良い工法を選定しました。

また、各種大会前には、カリキュラムを工夫することにより部活動の開始時間と終了時間を早めて、生徒の身体的負担に配慮するとともに、教員にとつては、その時間を有効活用して業務の効率化を行っています。

時間を見直して、生徒の身体的負担に配慮するとともに、教員にとつては、その時間を有効活用して業務の効率化を行っています。

健康福祉・介護予防

◆国民健康保険制度は?

問 国民健康保険制度改革の進捗状況について問う。

答 平成30年度から国保の財政運営の主体が千葉県に行することに伴い、現在、千葉県や市町村、千葉県国保連合会で、都道府県化に向けた情報の共有化などに取り組んでいます。

また、千葉県では、今後の国保運営方針を策定中であり、市町村ごとの医療費の動向や財政状況、所得や収納率について分析しています。

なお、都道府県化に伴う館山市の課題については、国保税率の決定や国保税の賦課や

収納、保険給付など、基本的な市町村の国保事務は、都道府県化後も現状と変わらないと聞いていますが、引き続き、国や千葉県の動向に注視しつつ、適切に対応していきます。

◆高齢者が健康で楽しく暮らしていくための対策は?

問 現在、市が高齢者向けに行っているイベントの実施状況や成果などについて問

問 暮らしを良くすること
にならないムダの削減や有効
な収入源も検討しているはず
なので、その内容を示してほ

館山市の施策

行政改革は？

間暮れにじを耳にしたと
にならないムダの削減や有効
な収入源も検討しているはず
なので、その内容を示してほ

このように、歳出削減や歳入増加に資する様々な施策を実行していますが、今後も予測される厳しい財政状況のなか、本定例会においては、「使用料・手数料の設定に関する基本方針」に基づく使用

神奈川地区では、最初は館山市の保健師や依頼した理学療法士などが指導しますが、その後、定期的に介護予防のための体操教室を自主的に行っています。

このように、体を動かすことだけでなく、集うこと、話すこと、出掛けること、笑うこと、手先を使うこと等が健 康寿命を延ばすことに大変効 果があると考えています。

館山市では、保健師が各担当する地域に出向き、地区公民館など14会場において、ストレッチや軽運動を月に1回から2回程度の頻度で実施し、地域での仲間づくりや閉じこもり予防、転倒や認知症の予防のための普及啓発活動を実施しています。

て、平成28年度当初予算編成においては、特定規模電気事業者いわゆるP.P.S事業者との電力契約締結に伴う電気使用料の削減、住宅リフォーム補助制度や敬老祝金の見直し、海水浴場開設期間の縮小など既存事業の見直しにより、約5700万円の歳出削減を行いました。

の各条例の改正議案を提案しており、これにより、約4800万円の歳入増加を見込み、各種公共施設の適切な維持管理のための財源を確保しようとするものです。

今後とも、持続可能で健全な財政運営を図るため、更なる行政改革を実行していくま

ど、いずれも市民に大きな影響があることから、各委員会でも審議を尽くし、最終日ににおいて賛成多数で可決されました。

会議録の検索・閲覧

9月定例会及び委員会の会議録は、11月中旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

石井敬之 龍崎滋

議会や議会だよりに関するご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール（番号及びアドレスは表紙参

照)でご連絡ください。

編集後記

福祉センターの風呂の入浴料

修正された議案は、老人

に対し議会から修正案が出され、可決されました。

議案番号	件 名	議 決 結 果
議案第50号	平成28年度館山市一般会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第51号	館山市議會議員及び館山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第52号	館山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致

議案番号	件 名	議決結果
議案第53号	館山市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第54号	館山市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第55号	館山市立博物館設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第56号	館山市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第57号	館山市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	修正可決 賛成多数
議案第58号	館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	修正可決 賛成多数
議案第59号	館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第60号	平成28年度館山市一般会計補正予算（第4号）	原案可決 全会一致
議案第61号	平成28年度館山市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第62号	平成28年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第63号	平成28年度館山市一般会計補正予算（第5号）	原案可決 全会一致
議案第64号	館山市教育委員会委員の任命について	原案同意 賛成多数
議案第65号	館山市教育委員会委員の任命について	原案同意 賛成多数
認定第1号	平成27年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 賛成多数
認定第2号	平成27年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第3号	平成27年度館山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第4号	平成27年度館山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第5号	平成27年度館山市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致

付託委員会 (総務 文教民生 建設経済 決算審査特別 付託なし)

議案ごとの賛否 (賛否が分かれたもののみ掲載)

(議席順)

議案番号	議員名	榎本祐三	室厚美	石井敏宏	森正一	瀬能孝夫	望月昇	石井敬之	太田浩	龍崎滋	今井義明	石井信重	本多成年	鈴木正一	内藤欽次	福岡信治	吉田恵年	本橋亮一	鈴木順子
議案第55号	議長	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第56号		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号（修正案）		×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○
// (修正部分を除く原案)		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号（修正案）		○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×
// (修正部分を除く原案)		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第64号		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○